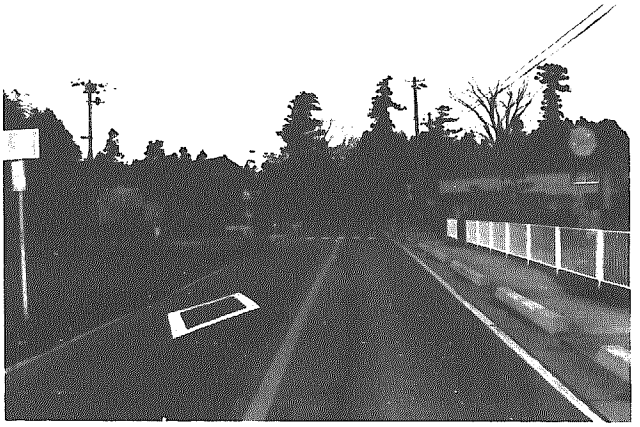
シリーズ 22

西中（にしなか）

いまや、ふれあい発進地

■新年あけましておめでとうございます。今月の「おじゃまします――地域情報ネットワーク」は、農業の中心地であるとともに、いまや役場をはじめ村の主要施設が集まった村行政の中心地でもある西中地区におじゃましました。

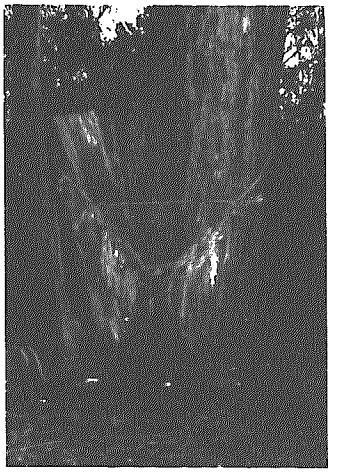
西中地区、この地区はみなさんご存じの方も多いと思いますが、古くは中村（なかむら）、岡（おか）、牛島（うしじま）の三集落が独立してあった地区で、その後この三集落が集合して中村といわれていた地区でもあります。明治に入り、郡内に同名の地名が多かったことから、西の字を冠して「西中」とした？といわれています。地区名からもわかるように、ここ西中地区は位置的にも村内の中央に位置する集落で、世帯数が六十二戸、人口が三百十二人という村内では中堅的集落です。



西中地区を通過する県道白根・間瀬線、今は歩道も整備され快適。

それにこの地区は岩室中学校をはじめ、昭和五十五年に公民館が出来て以来、岩室村役場、村民体育館、消防岩室分署など村の主要施設がこの地区に集合し、いまや、村行政の中心地でもあります。

「ここ西中は、もともとは中村地区、岡地区、牛島地区という三つの集落に分れてたものが一つに集まり〝西中〟となった地区です。でも、寄せ集まりといっても古くから地区間同志の交流は盛んでしたから、地区民のまとまりというか、人と人との交流はとてもいいところですよ」と一番に地区内のまとまりの良さを話す本間区長さん。ですから、当然のことながら子どもたちからお年寄りまでの各層の団結力なども抜群で、運動会やゲートボールなどの各種大会ではいつも西中旋風を巻きおこしています。「いやあ、西中地区の人たちの団結力というかパワーにはいつも驚かされます。昔から運動会やいろんな大会などではいつも好成績を挙げてきましたが、いまもより一層がんばっていますね。ですから、地区公会堂内はそんな賞状なんかでいっぱいですよ」とうれしそうに地区内活動の様子を話す区長さん。それに同地区に古くから続いている活動の一つ農業研究会。これは地区の主要産業である農業の活性化を図るために設けられているもので、文字どおり農業を通して稲作技術の向上と併せて地区活性化を図るという同地区自慢の活動もあります。



〝桃井親王伝説〟も残る松（牛島地区）

西中区長
本間昇（ほんまのぼる）さん
（56歳）

ところで、こんな地区内交流やコミュニティ活動が盛んな西中地区にも悩みがないわけでもありません。「いまは何もかも良くなりました。でも各家庭でいま芽生えつつある心配といえばやはり農業後継者の問題ではないでしょうか。ですから、これからの地域づくりはこれらの問題も含め、地区全体で取り組んでいきたいですね」と話す区長さんの言葉から、新しい年への力強い動きを感じとれる西中地区でした。

西中ミニデータ

人口	312人
男	157人
女	155人
世帯数	62 世帯

（平成元年12月1日現在）

新潟県立自然科学館 催物のご案内

プラネタリウムコンサート'90（星と音楽の夕べ）▽日時…1月20日、21日午後3時40分開演▽演奏曲目…クラシック、ポピュラーほか▽観覧料…通常の入館料です。

ハクチョウ観察会　鳥屋野潟に飛来しているハクチョウや天然記念物のヒシクイたちを観察しよう▽日時…12月～3月までの日曜・祝日▽場所…自然科学館屋上▽観覧料…通常の入館料です。※なお、天候により中止することもあり。

プラネタリウム「コアラの国へ」を投映中です　今回は、新潟では見ることの出来ない南半球の星、南十字星やマゼラン星雲などです。▽投映回数…平日2回、日曜祝日5回投映▽観覧料…通常の入館料

●詳しくは、新潟県立自然科学館☎025―238―3331へ。

今月の納税

村県民税（4期）
納期限は1月31日です

訂正とお詫び

■広報12月号の11ページで、「し尿汲み取り料金の改定が平成2年2・月・1・日・から」とあるのは「平成2年1・月・1・日・から」の誤りでしたので、ここに訂正し、お詫びいたします。

■広報いわむろ 第三三三号 平成二年（一九九〇年）一月一日発行（毎月一回一日発行）■発行 岩室村役場■編集 総務課■新潟県西蒲原郡岩室村大字西中八六〇（〒九五三―〇一）■☎〇二五六―八二―四一一一（代）■印刷 北洋印刷㈱